

ご家族や多職種、外部とも記録でつながれる ケア記録システム



carecollabo™

ケアコラボ



障がい福祉分野編

# 「特変なし」は誰のための記録？ 記録の目的から見直し、笑顔あふれる場所に変化



## 社会福祉法人 清心会 様

- 社会福祉法人 清心会  
—埼玉・秩父—
- 所在地 埼玉県
  - サービスの種類 入所サービス、通所サービス、訪問サービス
  - サービス種別 施設入所支援、共同生活援助、短期入所、就労継続支援B型、生活介護、放課後等デイサービス等
  - 従業員数 320名
  - ご担当者様 理事長 岡部 浩之さん

### 導入前

記録の目的が明確ではなく、「特変なし」など同じような記録が多かった...

日中と夜間の記録がバラバラになってしまい、情報共有がむずかしかった...

本部へ情報が届くスピードが遅く、伝達の途中で止まってしまうことも...

### 導入後

「ご利用者の生活の質の向上のため」の記録になり、ご利用者の笑顔が増えた

事業所を超えて、ご利用者を軸に記録がまとまり一元化された

リアルタイムで情報が共有され、クレームなどの対処も素早くなった

## 01

### 「特変なし」は誰のための記録？ 記録の目的から見直した

—導入前はこういった課題がありましたか？

設立当初は事業所数も少なく、私たちの役割も入所施設内でのサービス提供のみで完結していたのですが、徐々に地域福祉サービスを展開していくことでグループホームなどの事業所が増え、そしてスタッフも分散していくことで、情報共有に課題を感じるようになっていきました。「誰に共有したいか？」という**記録の目的が明確でなかったことも課題の1つ**でした。そのため「特変なし」など、同じような記録が多く、質のいい記録が出来ているとは言い難い状況でした。記録は監査のための事務的な作業ではなく、**ケアに関わるすべての人に共有して**

ケアの質を向上するための記録にしたいと思っていました。  
—そういった課題をお持ちの中、どうやってケアコラボを知りましたか？

ある研修でのつながりをきっかけに、社会福祉法人 南高愛隣会さんへ見学に行った際、ケアコラボのことをはじめて伺いました。事業形態が似ていることから、勤怠の管理や記録業務をどうしているのか相談してみたんですね。ケアコラボはスマホを使って画像や動画を記録できることが印象的でしたね。

## 02

### 記録の目的が 「ご利用者の生活の質の向上のため」と明確に

—ケアコラボを導入することで、情報共有の課題は解決されましたか？

事業所を超えて、**ご利用者を軸に記録がまとまるようになりました**。また、以前は言葉だけの記録でしたが、今では写真付きの記録が多くなっています。いい写真を撮ろうと、現場が自然と笑顔を見せるための工夫をするようになりました。笑いがあふれる場所というのは健康な場所であると言えます。

—記録はご家族にも積極的に公開されていますね。

基本的にすべての記録を公開するようにしています。遠く離れたご家族からすると、やはり写真がとても喜ばれますね。

記録に対して**ご家族からコメントをいただくことが多く、職員のモチベーション向上**につながっています。ケアコラボを導入してからは、記録は「ご利用者の生活の質の向上のため」という目的になりました。

—導入に対して職員の反応はいかがでしたか？

実は若手よりもウケがいいのは、福祉の現場経験のある方です。他法人で紙の記録を経験している分、ケアコラボの良さがより分かるんでしょうね。書いて終わりの記録ではなく、共有する前提で記録をする姿勢が評価されているようです。

## 03

### 一方通行だった記録が 双方向どころか三方向に

—これから導入する方へのアドバイスはありますか？

まずは記録の目的を見直す必要があります。日々の記録は何のための記録なのか、誰に見てもらおうと思って書いているのか。今の記録は楽しいですか？を自らに問いかけていただきたいと思います。

当法人では「**多くの人に見てもらえる記録になるべき**」という目的を定め、その結果ケアコラボの導入を決定しました。時には既存の記録の概念を変える必要もあります。職員だけでなく、ご家族に記録が人に見られることは、緊張感にもなります。緊張感が悪いことではなく、一度冷静

になれる機会を与えてくれます。**今まで一方通行だった記録が双方向どころか三方向になり、とても満足しています。**

—今後の挑戦や、ケアコラボに対する期待を教えてください。

今後はできれば、ご利用者の人生録を積極的に入力していきたいです。それも、できればご家族と一緒に創り上げていければ理想だなと感じます。ケアコラボはアジャイル開発を採用しており、改善が繰り返されているのが好きですね。今後も現場の意見を元によりよいシステムづくりをされることを期待しています。

# 「記録は面倒」から「皆に知ってほしいから記録する」という自発的なものに



## 社会福祉法人 親愛会 様



- 所在地 埼玉県
- サービスの種類 入所サービス、通所サービス
- サービス種別 施設入所支援、共同生活援助、短期入所、就労継続支援B型、生活介護、就労移行支援、特別養護老人ホーム等
- 従業員数 260名
- ご担当者様 総合相談室 所長 吉田 拓人さん

### 導入前

パソコンがある事務所に  
毎回戻って記録をしていた...

申し送りを聞くまで  
スタッフが分からない、  
知らないことが多かった...

「記録は面倒くさい」という  
マイナスイメージを  
持っていた...

### 導入後

記録業務が  
効率化されるだけでなく、  
ポジティブな内容が増えた

それぞれが持つ情報量が  
各段にアップ、  
知っていること前提の支援に

もっと記録して、  
皆に知ってほしいという  
プラスイメージに変化

## 01

### パソコンでの記録方法と 情報共有が課題だった

—導入前の課題について教えてください。

以前使っていた記録ソフトは、大変使いづらいものでした。ソフトが入っているパソコンが事務所にしかないため、そこに戻らなければ記録が打てず、また年配の職員に関しては手書きで記録するという非効率な状況。そしてそれぞれのご利用者の様子を把握しづらいという問題が起きていました。

—グループホームが9つあることから、情報共有をしなければ良い支援ができないということでしょうか？

そうですね。ご利用者がその日どのような様子だったのか分からなければ、良い支援は提供できないと考えていました。

当時の申し送りは、職員人数が多い13時に集まり、それぞれのホームの昨日までの様子を伝えていました。午前中の状況が分からず、タイムリーな情報が把握できていませんでした。

—導入していく過程で大変だったことはありますか？

法人の許可を得るまでが大変でした。使っていたソフトのリース期間も2年ほど残っていたので、普通に考えるとソフトの切り替え時期ではないですね。困っていることや、良いサービスを提供するにはケアコラボがいるという必要性を、とにかく訴え導入に繋がりました。

## 02

### 日常の様子が切り取られた記録と スタッフの気づきが増えた

—導入直後、職員の方の様子はいかがでしたか？

特に混乱はありませんでした。私自身が記録するとき、あえて写真や良かったことを多めに載せたり、いいねを押すなど、意図的に行うことで「こういう風に記録するんだな」と感じてもらいました。

—導入後、記録内容や業務環境に変化はありましたか？

記録の量が増えたというのは、間違いありません。良い記録やご利用者にとってプラスの記録が多くなりました。「こういった暴言があった」などばかりではなく、「こういった話をしていた」などなんでもない日常の様子が書かれています。

ていた」などなんでもない日常の様子が書かれています。また1人の職員が支援にあたるうえで、持つ情報量が変わりました。今までは申し送りを聞くまで分からなかったことが、事前にケアコラボを見れば分かるので、申し送り時間は明らかに減りましたね。ケアコラボに書いているもの以外で、必要なことだけを少なくとも10分以内で申し送りしています。そして余った時間では、職員自身に起こった良いことを発表してもらっています。これも、ご利用者の良いところを見つけることに繋がるので。

## 03

### ICTの活用で 「職員が選ぶ」働きやすい施設を目指したい

—ケアコラボを導入したことで、組織的に変わった部分はありますか？

若い職員が使いやすいものを取り入れていこうという雰囲気にはなりましたね。あと他事業所の職員とご利用者の話をしたとき「それケアコラボで見たよ」という会話が多くなりました。複数の事業所を利用されている方の通院予定などについても情報が共有でき、伝達ミスが少なくなりました。

—ケアコラボで記録していくなかで、職員の方に変化はありましたか？

記録に対するイメージは変わったようです。「記録は面

倒くさい」というマイナスイメージだったものが、長文の記録などを読むと「もっと記録して、皆に知ってほしい」というプラスイメージに変化したことが分かります。

—ICT導入に踏み切れず、何から始めれば良いか分からないという事業所の方へ、メッセージをお願いします。

福祉業界全体的に人材難だからこそ、労働環境を良くしなければいけないと思います。「こうすれば、良い支援ができるのに」がICTの導入で解決するのであれば、積極的にやるべきだと思います。「まずやってみよう。意外とうまくいくかも！」って、私は思っています。

## 記憶ではなく、 記録を根拠にした支援を目指して



### 社会福祉法人 北摂杉の子会 様



- 所在地 大阪府
- サービスの種類 入所サービス, 通所サービス, 訪問サービス
- サービス種別 就労移行支援, 自立訓練, 施設入所支援, 共同生活援助, 短期入所, 就労継続支援B型, 生活介護, 児童発達支援 等
- 従業員数 450名
- ご担当者様 ジョブジョイントおおさか所長 星明 聡志さん

#### 導入前

読むまでに時間がかかることで、  
支援に記録を  
活用できなかった...

記録用紙の  
印刷代で経費がかさんでいた...

外での支援記録は属人化され、  
個人で判断することが多かった...

#### 導入後

過去の記録の検索も早く、  
記録がすべて  
支援に活用できるように

毎月2万～3万円の  
経費が削減

施設内のスタッフにも  
共有ができるようになり、  
チームでのケアへ意識が変化

01

### 記憶ではなく、 記録を根拠にした支援がしたかった

—記録システムを導入する前の課題を教えてください。  
ケアコラボの導入前は、支援記録をすべて紙でおこなって  
いました。エクセルで作成したフォーマットを印刷し、  
そこへ各自が書き込みます。その記録をサービス管理責任  
者へ提出し、印鑑を押して回覧する流れでした。業務の合  
間を縫って支援記録を読むので、どうしても溜まってしま  
うことがありました。また、手元の紙をご利用者ごとにフ  
ァイリングし直すことも手間でした。  
—紙での回覧となると、どうしても時間がかかってしま  
いますね。

読むまでに時間がかかることで、支援に記録を活用でき  
ないのが最大の課題でした。記憶ではなく、記録を根拠に  
した支援がしたかったんですね。2週間に1回、利用者面  
談を行っているんですが、その際に前回の面談記録が見れ  
ないことがあったんです。「なるべく見ましょう」と言っ  
ても、業務自体が変わらないのでなかなかうまくいきませ  
んでした。紙の支援記録は図やイラストで記録しやすいと  
いうメリットもありますが、活用に目を向けるとデメリット  
もあります。

02

### 短期間での導入だったが、 シンプルで使いやすく混乱もなかった

—ケアコラボのことはどこでお知りになりましたか？  
ケアコラボの評判はいろんなところから聞いていて、ずっと  
気になっていました。初期費用が無料、そして一人あたりの  
月々の利用料も安いので気軽に始められました。  
—お問い合わせいただいたから導入までが約2週間と非常に  
スムーズでしたね。  
導入が前提で問い合わせをしたので、比較検討も行わずにす  
ぐに動き出しましたね。最初は使用感やセキュリティを心配し  
ていたスタッフもいましたが、慣れてくれば大丈夫になってお  
られるように思います。ケアコラボはデザインがシンプルなの

で、導入当初より現場から操作に関する質問はほとんどあ  
りませんでした。  
—導入後は検索の機能をうまく使っているようですね。  
ケアコラボの検索機能を使うことで、過去の記録が支援  
に活用しやすくなりました。記録時に一定のキーワードを  
入力しておくことで、検索がしやすくなっています。導入  
時に検索がしやすいようにキーワード表を作っておいたの  
がよかったですね。現場で活用しやすいように、運用担当  
のスタッフが色々工夫してくれました。

03

### 申し送りの時間が削減され、 その分ディスカッションが増えた

—ケアコラボを導入して変わったことはありますか？  
朝礼や終礼が大きく変わりましたね。今までは口頭で伝  
えていたのですが、ケアコラボを導入してからは、「詳細  
はケアコラボを確認してください」が基本になり、情報共  
有の時間が短くなっています。おかげで朝礼や終礼の時間  
で、支援のことやプログラム運営のことをディスカッ  
ションができるようになりました。予想外だった導入効果  
としては、記録用紙の印刷代が大幅に削減されたことだ  
すね。毎月2～3万円くらい下がっているので、ケアコラボの  
利用料の元が取れています。

—今後法人として挑戦したいことはありますか？  
みんな私生活ではAmazonなどデジタルにお世話になっ  
ていますが、福祉の現場に来るとアナログになってしま  
います。利用者支援をするスタッフにとって、ケアコラボの  
ような利用者に関わるツールをまず使うことで、デジタル  
慣れしやすいでしょう。最近ではご利用者の方がデジタル  
化が進んでいるということもありますし、VRなども試し  
ています。世の中が便利になってきていますし、ITに興味  
を持つスタッフが増えていくといいなと思います。



ケア記録システム | ケアコラボ

ケアコラボ株式会社

tel : 03-4405-9502

<https://page.carecollabo.jp/>

ケアコラボ

検索

